

奈良発！未来を創造するグローバル・リーダー育成プログラム

研究開発の背景

- OSGHで明らかになった課題の改善
- ・教科間連携を発展させ指導改善すること。
 - ・地域を舞台に自己の将来像と結び付け研究を深化させること。
 - ・SGHのレガシーを一層活用すること。

課題研究を核にして、パワフルで創造的な次代の地域リーダーを育成する！

研究開発実施体制

(コンソーシアムの構成等)

- 【コンソーシアム】(管理機関・実施校以外)
- ・地方行政(橿原市、奈良県)
 - ・大学等(奈良教育大学)
 - ・関係機関(UNWTO(国連世界観光機関)、ナラファミリー&フレンド(在日外国人支援NPO))
 - ・地元企業(マサキ商事)

- 【地域協働学習実施支援員】
国際教育、課題研究指導立案の経験者1名
- 【海外交流アドバイザー】
教育及び海外でのビジネス実務経験者1名

管理機関・実施校

令和2年度の目標／取組状況

※ [目標] ...下記の各項目
 ※ [取組状況] ...黒字は予定を超えた実施が、赤字は未達があったことを示す。いずれも () 内がその具体である。他は予定通りの実施。

- ①教科間連携と指導改善
 - ・「課題研究」における教科間連携(第2学年全員履修で実施)
 - ・従来取組の指導改善(ADコースの指導改善、研究発表会の改善等)
 - ・「総合的な探究の時間」部会の始動
- ②キャリアと接続した研究の深化
 - ・「課題研究」ルーブリック作成及び評価の実施
 - ・留学生の派遣、受入れ
 - ・各種研修の実施
- ③SGHレガシーの活用
 - ・各種検定、コンテスト等への参加
 - ・国際理解教育、交流、海外研修等の取組(新型コロナウイルス対応のため中止)
- ④事業全体の企画・進行
 - ・コンソーシアムの管理運営(協力体制の構築等)
 - ・業務分担、外部連携
 - ・新カリキュラムへの対応

今年度事業のポイント



全生徒を対象とした少人数指導による「**課題研究**」の実施



外部発表にオンラインによる参加「**全国高等学校グローバル型探究オンライン発表会**」、「**総合的な探究の時間・奈良TIME学習研究発表会**」



コンソーシアム機関を中心とした**地元企業・人材と協働**
新規の公開講座の充実

成果と課題

成果

- (1)従来取組の継承と発展
 - ・令和4年度教育課程の完成
 - ・オンラインを活かした、外部コンテスト等への参加
 - ・コンソーシアムの充実
- (2)新規取組の実施
 - ・「課題研究」の実施(2年生全員)
 - ・「課題研究」ルーブリック作成及び評価の実施
 - ・地域との新たな協力関係

課題

- (1)指導体制の強化
 - ・ファシリテーターとしての役割
- (2)研修旅行の実施
 - ・専門委員会で継承改善
- (3)実施体制の検討
 - ・指導体制の強化継続
 - ・教科間連携の拡充
 - ・進路、将来像の意識付け